司法取材・報道どこまでOK？裁判公開の原理原則や意義を知ろう

講師 清永聡（NHK）、江川紹子（ジャーナリスト、神奈川大学国際日本学部特任教授）、井桁大介（認定NPO法人CALL4）、ローレンス・レペタ

日時 2026-11-21 11:10〜12:30

会場 1階 井深ホール

オンライン中継あり

裁判取材に制限が強まり監視も検証も困難になっています。法廷は匿名と遮蔽だらけ。刑事確定記録は非公開だらけ。民事も閲覧制限が拡大…。裁判公開は人権原則のはず。司法取材のベテラン、公共訴訟を担いつつ裁判記録をネット公開で社会に共有するCALL4の弁護士の話から学びます。法廷メモ訴訟原告のローレンス・レペタさんも緊急登壇。堂々と報道するための裁判公開の原理と、民事刑事の裁判記録を見る方法など取材力を身につけましょう。

講師プロフィール



清永聡（きよなが・さとし）

NHK 解説委員

1970年生。NHK社会部で気象庁や司法クラブなど担当。社会部副部長、司法クラブキャップなど経て解説委員（司法、災害、公文書担当）。連続テレビ小説「虎に翼」では取材担当。著書に『家庭裁判所物語』（日本評論社、2018年）『気骨の判決』（新潮社、08年）など。沖縄戦を経て戦後孤児院を設立したキリスト教検事正の生涯を描く『キリスト教検事正の沖縄戦（仮）』（新潮社）を12月出版予定。



江川紹子（えがわ・しょうこ）

ジャーナリスト、神奈川大学国際日本学部特任教授

早稲田大学政治経済学部卒業後、神奈川新聞の定期採用初の女性記者として活躍。29歳でフリーランスに。坂本堤弁護士一家拉致殺害事件をきっかけにオウム真理教の取材を始め、1995年に菊池寛賞を受賞。冤罪解明をはじめ司法取材が長く『六人目の犠牲者 名張毒ブドウ酒殺人事件』（文藝春秋、94年）『人を助ける仕事』（小学館、2004年）『「カルト」はすぐ隣に』（岩波書店、19年）など、多数の著書がある。司法情報公開研究会共同代表として裁判の公開を推進。



井桁大介（いげた・だいすけ）

認定NPO法人CALL4 事務局長

弁護士（宮村・井桁法律事務所）



ローレンス・レペタ（Lawrence Repeta）

米国弁護士

米国ニューヨーク州生まれ。米弁護士。傍聴者による法廷メモ禁止は知る権利や裁判公開原則を保障した憲法に違反と訴え、1989年の画期的憲法判例「法廷メモは原則自由」を勝ち取った。大宮法科大学院大学教授、明治大学特任教授を経て米シアトル在住。表現・報道の自由や裁判の公開の大切さを訴え日米で講演活動を続ける。近著に『平和を求める自由 立川反戦ビラ入れ事件の「良心の囚人」』（日本評論社、2026年）。